

# 令和5年度福井県死因究明等推進協議会 議事概要

## 1. 日時

令和6年3月13日（水）18：30～19：45

## 2. 場所

オンライン会議

## 3. 出席者

別添出席者名簿のとおり

## 4. 議事

### (1) 委員選任について

異動等による委員の変更、および協議会設置要綱の改正について、事務局から説明を行った。委員の変更、協議会設置要綱の改正について、各委員から異議はなく、承認された。

### (2) 死因究明拠点整備モデル事業について

厚生労働省の実施している「死因究明等拠点整備モデル事業」の概要や県内の死因究明体制の現状、福井県でのモデル事業活用の検討を行った内容について、事務局から説明を行った。

委員からは、県内で承諾解剖を増やしていく体制を構築することは難しく、血液等の検査や死亡時画像診断の実施などを行い、死因究明等の精度を向上させるという考え方が重要であるというご意見があった。

### (3) 災害時の死因究明体制について

令和5年11月に行われた「中部管区広域緊急援助隊合同訓練」の概要や災害時における死因究明等実施手順について、福井県警察本部から説明を行った。日頃から連携し協力し合える関係を築いていく重要性を再確認した。

その後、能登半島地震災害派遣対応について、福井大学法医学教室から説明を行った。災害時には水道や通信等のインフラが不十分な中で、その場にある限られた備品や資源を活用して遺体の検案等を行う必要があり、厳しい状況になることを確認した。

委員からは、他県では防災訓練の中で検視訓練を取り入れているという情報提供や、全国的に検案医の高齢化が進んでおり検案医不足の課題があるというご意見があった。